

子育て・子育てのための環境づくりを推進します

《新規事業》

放課後子ども教室事業（放課後子どもプラン）

⇒ 6,979千円

（担当：生涯学習課）

次世代育成支援事業として、地域や各団体・企業などと連携を図り、「放課後子どもプラン運営委員会（仮称）」を設置し、「放課後こども教室」を開催します。地域の方々に協力していただき、放課後や週末などを利用して学習機会や体験活動の場を提供します。

《新規事業》

緊急児童一時預かり事業（ファミリー・サポート・センター）

⇒ 500千円

（担当：福祉課）

働く親が仕事と育児を両立できる環境づくりをすすめるとともに、地域の子育て支援を行うことを目的として、地域において、育児の援助を受けたい人で行いたい人を会員として登録し、NPO法人を運営主体として相互に援助活動を行います。

放課後児童クラブ事業（放課後子どもプラン）

⇒ 24,586千円

（担当：福祉課）

子どもを育てる保護者が安心して働けるよう、市内3ヶ所の「放課後児童クラブ」において、学校の終了時に家庭に保護者がいない小学校低学年などの児童に生活指導などを行います。

少人数学級推進事業

⇒ 17,932千円

（担当：総務学事課）

教師がゆとりを持って子ども一人一人にきめ細やかな指導を行えるようにするとともに、子どもたちが基本的な生活習慣や学習習慣の基礎を養えるよう、市内小学校の低学年を対象として、1学級30人の少人数学級を編制します。市独自に数名の教員を採用し、学級担任として配置します。

特色ある教育活動支援事業

⇒ 5,000千円

(担当:総務学事課)

学校が保護者や地域住民などの信頼に応え、家庭・地域住民と連携・協力して児童・生徒の健やかな成長を図るための取り組みを進めます。また、日々変化する教育環境に対応するため、学校主体の教育を推進します。

小・中学校施設安全対策事

⇒ 23,609千円

(担当:総務学事課)

児童・生徒や教職員の安全を確保するため、市内小・中学校施設の点検を行い、危険な箇所や修繕が必要な箇所について適切な処置を施します。

大竹市こども相談室事業

⇒ 13,287千円

(担当:総務学事課)

悩みを抱えながら生活している子どもや保護者の相談窓口として、市職員を含む専門相談員により、幼児期から青少年まで一貫した相談が可能な「こども相談室」を開設・運営します。不登校の児童・生徒に対して学習・生活面を支援し、自立への基礎を身につけるための教室もあわせて開設します。

松ヶ原こども館(つどいの広場)事業

⇒ 5,696千円

(担当:福祉課)

地域の子育て支援の拠点として、子育て相談、親子の交流の場の提供、子育ての情報の提供などを行う「松ヶ原こども館(通称:あっぷっぷ)」を、地元の自治会とNPO法人「ほのぼのん」に委託して管理・運営を行います。

《新規事業》

要保護児童地域対策協議会運営事業

⇒ 100千円

(担当:福祉課)

児童虐待をはじめとする要保護児童対策に市全体で取り組むため、県や市をはじめ、様々な関係機関・団体に構成する「要保護児童地域対策協議会」を設置・運営します。

すこやか保育環境改善事業

⇒ 1,325千円

(担当:福祉課)

安全・快適でゆとりのある保育環境の提供により、乳幼児が「すこやか」に育つことができるよう、市内保育所の環境整備を実施します。

母子自立支援事業

⇒ 2,248千円

(担当:福祉課)

母子家庭の自立促進のための就労支援として、就業のための教育訓練講座費用を補助します。また、看護師など、2年以上の修学期間を要する資格の取得にかかる訓練促進費の支給を行います。

児童手当

⇒ 200,058千円

(担当:福祉課)

これまで児童手当の支給金額は、第1子・第2子については月額5,000円、第3子以降については月額10,000円となっていましたが、国の制度改正に伴い、3歳未満児はすべて月額10,000円を支給します。

乳幼児医療助成事業

⇒ 43,797千円

(担当:保健介護課)

乳幼児および小学生に対する医療費の自己負担について助成を行うことにより、疾病の早期発見と治療の促進を図り、乳幼児などの健やかな成長を促します。

平成16年10月から県制度の改正に準じて、入院・外来ともに一部負担制を導入し、通院についての助成の対象を3歳未満児までから小学校就学前までに拡大するとともに、市独自の制度として、入院についてはさらに12歳未満児（小学校就学中）に拡大しています。

母子保健指導事業

⇨ 2,123千円

(担当:保健介護課)

<p>妊娠・出産・子育てに関する相談や講座，健診などの様々な事業を行い，親子の健康の保持・増進，育児不安の解消などの支援を行います。</p>		
<p>パパママスクール</p>	<p>81千円</p>	<p>主に初めて父親・母親になる人を対象に，妊娠中の健康管理，夫婦で協力して行う育児の方法などについて指導を行います。</p>
<p>ふれあいサロン</p>	<p>134千円</p>	<p>おおむね1歳までの子とその保護者を対象に，身体測定，育児相談，栄養相談などにより，育児不安の解消を図るとともに，仲間づくりの場の提供を行います。</p>
<p>乳児健康相談 タッチケア講習会</p>	<p>662千円</p>	<p>生後4ヶ月児を対象に，身体発育測定，精神・運動機能の発達チェック，育児・栄養相談などを行い，乳児の健康状態を確認し，疾病や障害などの早期発見および適切な治療や療育がなされるための支援を行います。また，赤ちゃんへのマッサージを通じ，母子間の愛情の向上を図るとともに，発達の促進，育児不安の軽減の場の提供を行います。</p>
<p>《新規事業》 赤ちゃん訪問</p>	<p>913千円</p>	<p>生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を訪問し，様々な不安や悩みを聞き，子育て支援に関する情報提供などを行うとともに，母子の心身の状態や養育環境などについて把握し，適切な助言を行い，支援が必要な家庭に適切なサービスの提供を図ります。</p>
<p>《新規事業》 幼児育成支援教室</p>	<p>333千円</p>	<p>1歳6ヶ月児健康診査において「要経過観察」となった幼児とその母親を対象として，成長発達を促す関わりが持てるように，子どもの発達支援センター「すまいる」の専門職員による教室を開催します。単発的な相談・指導では解消しにくい母親の「育てにくさ」などに対する精神面でのフォローや，長期的視野に立った指導を行います。</p>

子育て支援センター運営事業

⇨ 158千円

(担当:福祉課)

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として，子育て支援センター（通称：どんぐりHOUSE）を開設・運営し，育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行います。

親子ふれあい事業

⇒ 335千円

(担当:保健介護課,生涯学習課)

1歳6ヶ月児健康診査の時を利用して、保育士などによる相談・助言を行います。親子体操,子育て支援講演会,こそだてじゅく「ひよこルーム」,えほんでハートフルなどの事業を実施し,情報の提供と育児サークルの活動を支援します。

不審者対策等防犯事業

⇒ 500千円

(担当:総務学事課)

近年,子どもを狙った凶悪犯罪が増加傾向にあることから,児童・生徒の安全を確保するとともに,市民の防犯意識を高めるため,各PTAを主体として,巡回警備のための関係用具などを整備し,防犯対策を推進します。

大竹市教育研究会運営事業

⇒ 2,686千円

(担当:総務学事課)

学校教育の発展・向上を図るために,教育における様々な問題について調査・研究する「大竹市教育研究会」の活動に必要な経費の一部を市が負担することで,教職員の自主的な研究や学校間の連携を支援します。教育研究会では,キャリア・スタート・ウィーク事業をはじめ,教育振興のための様々な取り組みを行います。

学習環境整備事業

⇒ 3,452千円

(担当:総務学事課)

市内全ての小学校5年生教室の学習机・いすについて,JIS規格の改正に伴い,学習内容や学習形態に合わせた適切な机・いすを整備し,学習環境の向上を図ります。

15年度から継続して実施しており,18年度までに市内全ての中学校1～3年生および小学校6年生教室の整備を完了しています。

学校給食衛生管理推進事業

⇒ 1,469千円

(担当:総務学事課)

現行の給食施設はウェット方式ですが、調理工程の一部をドライ運用に切り替えることにより、給食調理時における衛生管理意識をさらに高めるとともに、安全・安心な給食を提供します。

奨学金貸付事業

⇒ 26,546千円

(担当:総務学事課)

扶養者が本市に居住し、優良な生徒などであって、かつ経済的な理由により修学困難な者を対象に学資の貸付を行い、有用な人材の育成を図ります。19年度においては、奨学金の貸付人数の枠を16名から20名へと拡大しています。

中学生交歓交流事業「少年平和大使」

⇒ 1,652千円

(担当:生涯学習課)

市内中学校生徒が、沖縄県豊見城市の生徒とホームステイ、平和学習、体験学習などを通じて交流し合うことで、広い視野と友情を深め、次代を担う人材の育成を図ります。本年度は大竹市の生徒が豊見城市を訪問します。

おおたけっ子らんらんカレッジ事業

⇒ 400千円

(担当:生涯学習課)

夏休みや冬休みを利用して、「ものづくり講座」、「自然観察講座」、「スポーツ体験塾」などの体験講座を実施し、子どもたちの豊かな心を育てます。

青少年健全育成事業

⇒ 1,000千円

(担当:生涯学習課)

青少年健全育成や教育力・地域力の向上、安全で安心な子どもの居場所づくりなどについて、地域をあげて考えるために、現状やニーズに即した講演会とワークショップを実施します。宝くじコミュニティ事業助成金を活用しています。